

富医ニュース

No.559 平成30年7月1日

一般社団法人 富田林医師会
会長 宮田 重樹
〒584-0082 富田林市向陽台1丁目3-38
TEL.(0721)29-1210 FAX.(0721)28-0858
E-mail: mail@tondabayashiishikai.jp

富田林医師会災害時 医療救護活動マニュアル

大阪北部地震で被災された方々に、心よりお見舞い申し上げるとともに、亡くなられた方やそのご家族にお悔やみを申し上げます。

昨年より富田林医師会、歯科医師会、薬剤師会では富田林三師会災害時医療救護活動マニュアルの作成を行ってまいりました。マニュアルの準備中に残念ながら6月18日に大阪北部地震が発生してしまいました。以下富田林医師会災害時医療救護活動マニュアルについて説明させていただきます。

富田林医師会災害対策本部

富田林医師会災害対策本部は富田林医師会館内に

①大規模災害及び、震度6弱以上の地震が発生した場合

富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村域で震度5強以上の地震を観測した場合は、各市町村のすべての指定避難所及び拠点救護所が開設されます。震度6弱以上の地震が発生した場合は、富田林医師会災害対策本部が設置され富田林医師会医療救護班の編成、および拠点救護所への派遣が行われます。

②10名以上の重症者が発生した災害の場合

③その他医師会長が判断した場合

役員は医師会館に自主参集し、速やかに会長を本部長、副会長(救急災害医療担当)を副本部長とする富田林医師会災害対策本部を設置します。

対策本部の役割は○富田林市、河南町、太子町、千早赤阪村各災害対策本部との連絡、情報の確保○医師会員の安否確認○医療救護班の編成・派遣○救護所の運営○医療救護本部へ状況報告○応援部隊の受け入れ(災害対策本部、医療救護本部との連携のもと行う)○保健所との連携(感染症対策)○救護所の廃止に伴う地域医療体制への移行(災害対策本部との協議による)となります。

富田林医師会医療救護班

富田林医師会医療救護班の編成は

①富田林医師会が毎年定める班編成に基づく。

②医療救護班は、原則として現地医療活動を行うために当座必要な資器材等を携行する。

③医療救護班の搬送は、原則として各医療機関が所有する緊急車両等を活用して行う。

富田林医師会医療救護班の派遣は

調 整 日

6月分 7月6日(金)
PM3:00まで

7月分 8月8日(水)
PM3:00まで

7 月 の 予 定

2日(月)・会長副会長連絡会議

6日(金)・調整日

10日(火)・学校医部会

11日(水)・救急災害医療委員会

13日(金)・理事会

14日(土)・社会保険指導講習会
・女性医師の会

18日(水)・病診連携会

24日(火)・感染症対策委員会
・広報調査委員会

27日(金)・広報調査委員会

(校正)

29日(日)・TMF



①富田林市救急医療対策会議、河南町、太子町、千早赤阪村の決定により、富田林医師会災害対策本部は医療救護班を派遣する。

②震度6弱以上の地震が発生した場合、診療を中止し、全医師会員はあらかじめ決められた拠点救護所へ自主参集し、救護活動を開始する。

③富田林医師会災害対策本部長は自ら必要と認めたときは医療救護班を編成・派遣して傷病者の医療救護活動にあたる。

富田林医師会医療救護班の業務は、ア)患者に対する応急処置 イ)医療機関への搬送の要否及びトリアージウ)搬送困難な患者及び軽症患者に対する医療 エ)

助産救護 オ)被災者の健康管理 カ)死亡の確認 キ)その他状況に応じた処置
業務遂行時は富田林医師会災害ベストの着用をお願いします。(ベストは拠点救護所近くの診療所に管理していただいております。)

拠点救護所

富田林市:喜志中学校、明治池中学校、金剛中学校、第三中学校、消防署

河南町:保健センター(かなんぴあ)

太子町:保健センター

千早赤阪村:保健センター

医師会員の安否確認

現在、SNS等での安否確認方法等検討しておりますが、現時点ではNTT災害伝言ダイヤル(171)での安否確認をお願いします。

171にダイヤル→1(録音)→0721291210(医師会電話番号)→ガイダンスに従い録音

NTT西日本

災害用伝言ダイヤル 171

～あなたの無事を伝えましょう！～

電話を利用して被災地の方の安否情報を確認する「声の伝言板」です。

ご利用方法

171にダイヤル

録音は1 再生は2

被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。携帯電話等の電話番号でも登録可能です。

市外局番 市内局番 お客様番号

ガイダンスに従い、録音(再生)

災害用伝言ダイヤル(171) ご利用の注意

ご利用できる電話

加入電話、ISDN※、公衆電話、ひかり電話※、災害時特設公衆電話からご利用いただけます。携帯電話やPHSからもご利用いただけますが、詳しくは各通信事業者へお問い合わせください。※ダイヤル式電話機をお使いの場合、ご利用になれません。

ご利用料金

伝言番機等のセンター利用料は無料です。NTT東日本またはNTT西日本の電話から伝言の録音・再生をする場合の通話料は無料です。他通信事業者の電話から発信する場合の通話料については各通信事業者にお問い合わせください。

ご利用の詳細案内

<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/>

NTT西日本

災害用伝言板 web 171

～あなたの無事を伝えましょう！～

インターネットを利用して被災地の方の安否情報を確認する「web伝言板」です。

ご利用方法

<https://www.web171.jp>

へアクセス
又は「web171」と検索

伝言を登録する被災地の方などの電話番号を入力

被災地の電話番号を市外局番から入力
携帯電話等の電話番号でも登録可能です。

説明に従い、登録/確認

災害用伝言板(web171) ご利用の注意

ご利用できる環境

インターネット接続ができるパソコン、携帯電話、スマートフォン等をご利用できます。*一部の機種ではご利用になれません。

ご利用料金

安否情報の登録、閲覧等に伴うサービス利用料は無料です。なお、インターネット接続費用やプロバイダー利用料および、ダイヤルアップ接続の場合は通話料等が別途必要となります。

ご利用の詳細案内

<http://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

VOC FREE 100% ※このフレットは、最速に配信した通話料100%のVOCフリーインターネット再生機を使用しています。

地震の発生時

“震度6弱以上と思われる”地震が発生した場合は、ただちに富田林医師会災害時医療救護活動マニュアルの趣旨に添った行動を開始してください。

市町村あるいは医師会からの要請・発令は、原則として出ません。(大災害時においては、物理的に要請・発令は出せないことが考えられます)

疑わしい時は、震度6弱以上と考え、自己の判断で行動してください。

概ね地震発生から1時間まで

1. 自分と家族及び患者さん、従業員等の身の安全を守る
火の元の点検、火が出たときにはま

ず初期消火

避難が必要な場合は、近くの避難所へ

2. 地震規模の覚知と状況の把握

テレビ、ラジオの地震速報または周囲の状況により、できるだけ地震規模を覚知するように努めてください。疑わしい時は、震度6弱以上と考えて行動してください。

平成30年5月定例理事会

日 時 平成30年6月8日(金)
13:30より
場 所 医師会 特別会議室

会長挨拶

報告事項

- 1) 自殺対策委員会 太子町
天城先生に依頼予定 (会長)
- 2) 防災委員会 ミサイル対策 (会長)
- 3) 向精神病薬長期処分関連研修について (会長)
- 4) 希少未診断疾患原因解明診断について (会長)
- 5) 優性保護法関連について (会長)
- 6) 特定健診 変更について (会長)
- 7) 地域包括会議から
様式は富田林市の分にあわせて
- 8) 第9回市民フォーラムの件(市民健康フォーラム委員会)
- 9) 認知症サポート医講習会に関して

協議事項

- 1) 入退会の件
- 2) 大阪府医師会学校医部会委員推薦について
福田理事を推薦
- 3) 大阪府医師会労災部会委員の推薦について
山本善哉理事を推薦

平成30年度 定例総会開催

平成30年度富田林医師会定例総会が5月28日(月)に医師会大会議室で開催されました。宮田副会長の司会で開始となり、堀野会長より、3期6年続けた会長を今限りで退任し次期会長に宮田重樹先生が就任されるのお話がありました。会員異動報告では川妻史明先生、中村元先生の平成29年度の入会報告と平成30年4月に入会された新鞍 誠先生の入会の報告と挨拶がありました。その後、昨年亡くなられた山本善護先生と尾多賀義治先生への黙祷をいたしました。次いで、赤松幹一郎先生に役員10年表彰、山本定慶先生、松浦隆先生、松本博城先生に会員20年表彰として表彰状と記念品が贈られました。

総会は、中島啓議長、入船副議長のもと出席者157名(うち委任状提出123名)で成立。平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画案が藤岡洋副会長より、平成29年度歳入歳出決算及び平成30年度歳入歳出予算案が児島担当理事より詳細報告がなされ、楠田監事より会計監査報告があり、ともに全会一致で承認され終了となりました。

診療所の被害状況を把握してください。救護所での活動は、地震発生後3日間の予定です。その後は、自己の診療施設の復旧に努めていただくことになります。

3. 電話が使用できるか確認してください。通じていても一時的に通話が殺到して不通になることもあります。「災害時優先電話」に指定されていれば比較的にかかりやすい措置が講じられています。通常にダイヤルするのみで、特別な操作は不要です。

4. 救護所への自主参集の準備をしてください。救護所では医師とすぐわかるように富田林医師会災害ベストの着用してください。

救護所に用意されている応急処置用資機材は、現在は、内容・数量ともに必ずしも充分ではありません。必要と思われる資器材等は、各自の判断で持参するようにしてください。

診療所には、救護所に出動した旨の張り紙をしてください。最寄りの医療機関に駆けつける方が必ずいます。そのような方が見てわかるように張り紙を貼ってください。

◎事情により救護所に参集することが難しいときは自己の施設でなら何とか負傷者の対応ができる場合は、そのように努めてください。ただし、何らかの方法で、救護所に連絡をするように努めてください。救護所でも予定の医師が来ない場合は、状況確認に向向くことになっています。その際、応援が必要であれば、その旨伝えてください。

◎診療所と離れた自宅等で地震に遭遇したときは

各拠点救護所の班編成は、診療所の所在地で編成してあります。したがって、自宅からは遠い救護所の担当になっている場合もあります。とりあえず診療所に安全確認に向向く必要がなければ、最寄りの拠点救護所に参集しても構いません。ただし、この場合も、拠点救護所に着き次第、富田林医師会災害対策本部または班編成の救護所に連絡を入れるようにしてください。



第46回 富田林医師会病診連携会

日時 平成30年7月18日(水) 14:10~15:10

場所 医師会 大会議室

【教育講演】 14:10~14:40

『心臓リハビリテーションとは ~最近の動向~』

富田林病院 循環器内科 部長 谷口 貢 先生

【ディスカッション】 14:40~15:10

『心臓リハビリテーションについて』

富田林病院 副院長 窪田 剛 先生

富田林病院 循環器内科 部長 谷口 貢 先生

PL病院 内科医長 白 亮 先生

中村・みなみクリニック 中村 元 先生

もりい内科クリニック 森井 秀樹 先生

※大阪府医師会生涯研修1単位(CC:15,73)

究極の日本語、芭蕉

中尊寺金色堂を取り上げたテレビ番組で、芭蕉の句が紹介されていた。

五月雨を 降り残してや ひかり堂

「降り残してや」という表現は、芭蕉にしかできない究極の日本語ではなからうか。

——五月雨は今もしとしとと降り続けているが、とりあえずは外に残しておいて、ひかり堂の中で藤原三代の歴史に思いはせると、五百年の無常に感無量である。といった意味であろうか。

言葉の無駄を省く俳句。その達人だから作り得た言葉「降り残してや」。

ところが、テレビの音声を聞き間違えていた。正しくは、

五月雨の 降り残してや ひかり堂

「五月雨を」ではなく、「五月雨の」であった。意味は当然変わってくる。調べてみると、最初にできた句は、

五月雨や 年々降りて 五百たび

であり、次に改められた句は、

五月雨や 年々降るも 五百たび

であった。究極の句の意味する所は、

——五月雨は五百たびもひかり堂の上に降りかかったが、今もその姿をかりうじて残してくれたのは、五月雨の優しさからだろうか。

そこで一句。俳句ではなく、川柳。五百年後の。

五月雨の 降り残してや 放射能

(まるる)

6月行事・会合

4日(月)・会長副会長連絡会議

7日(木)・調整日

8日(金)・理事会

22日(金)・広報調査委員会

25日(月)・訪問看護ステーション運営委員会

26日(火)・休日診療委員会

27日(水)・広報調査委員会(校正)

28日(木)・学術講演会

向精神薬長期処方に関連する研修について

2018年度の診療報酬改定において、“不安又は不眠の症状に対し、ベンゾジアゼピン系の抗不安薬・睡眠薬が12ヶ月以上、連続して同一の用法・用量で処方されている場合、それぞれ29点(通常の処方料42点)、40点(通常の処方箋料68点)”の設定となることとなりました。この件について、医師会ボックスに参考資料を配布しておりますので、ご確認のほどよろしくお願いたします。

○会員数(7月1日現在) 190名

A会員 99名 B会員 91名

○入会 なし

○退会 なし

○異動 6月1日

江村 俊也 A2B→A(江村医院 管理者交代)

江村 正信 A→A2B(江村医院 管理者交代)

広報調査委員会

| 委員長 | 齊藤 謙介 | 副委員長 | 森井 秀樹 |
|-----|-------|-------|-------|
| 委員 | 青山 賢治 | 天城 完二 | 植村 匡志 |
| | 江村 俊也 | 奥野 敦史 | 尾多賀雅哉 |
| | 遠山 佳樹 | 中村 元 | 藤岡 洋 |
| | 山本 善哉 | 山村 友良 | |